

サッシを取り外した状態です。

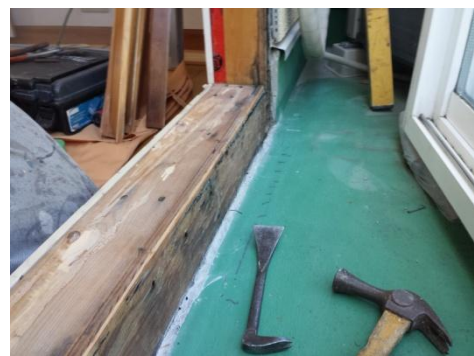
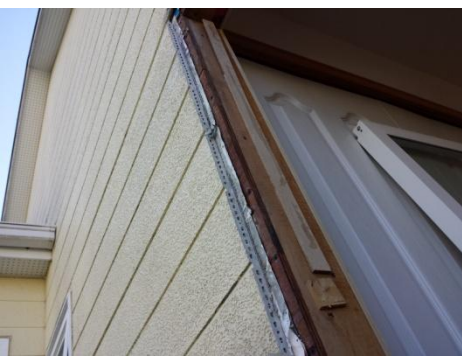
推測の通りサッシ下からの水漏れ跡が確認されました。



雨漏りしないサッシの取付方法を行う為に、立ち上がりのコンクリを撤去しました。



サッシ上部、ベランダ袖壁上、外壁際及びサッシ下部反対側からの雨漏り跡はありませんでした。



サッシ下部にグラスメッシュ、高分子エコ防水を行いました。

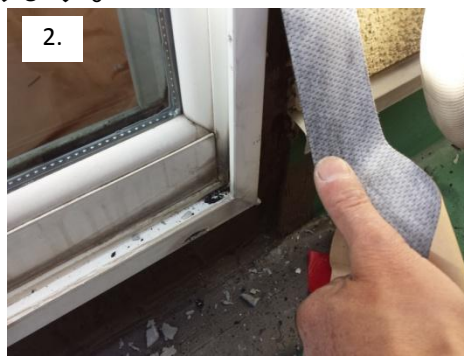
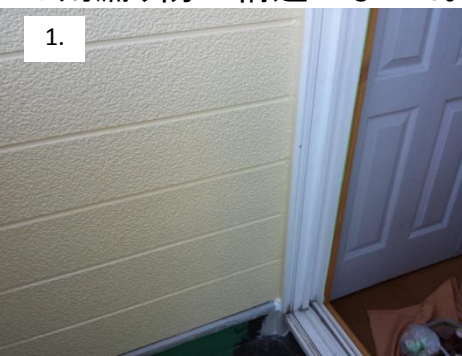


既存サッシ、桧木材にサッシがのせられていました。縁切りと高さ調節の為、木ブロックを配置し、サッシを取付けしました。

サッシ下、サッシ取付部(モルタルに埋まっていた)が防水層外部に出るよう工事し、内部側からのシーリングにより、万が一の雨漏りは防水層により外部に排水される2重の仕組みになっています。

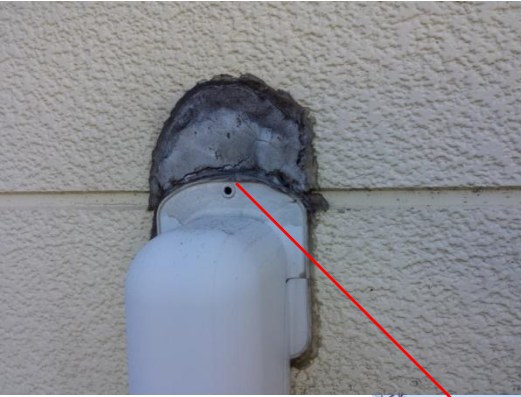


1.既存サイディングを復旧し、塗装しました。既存サイディングは12mmですが、現在は製造されていません。2.サッシを取り外す為に切り取られたサイディング部は防水テープ後シーリングを行い、3.サッシ廻り額縁取付後さらにシーリングを行い塗装しました。こちらも2重の雨漏り防止構造になっております。



全般的なシーリングを行いました。

原因A. サッシ上部で受けた雨水がサッシ際より浸入
2.に出口や水切りがありません。



原因B 3.は水抜き穴ですが、サッシレールで受けた大量の雨水が排出されますが、勢いが弱く、すべて4.部に廻りこみます。
4.部に亀裂があり雨水が入り込んだと思われます。

